

しげん 資源プラスチックのしよ理について

① 指定ぶくろに入ったしげんプラスチックを、しゅう集車から下ろす

しげんプラスチック（ここから先は「しげんプラ」と書きます）は、「しげんプラスチックあっしゅくこんぽうしせつ」でしよ理しています。

しゅう集車で集められたしげんプラを、受け入れヤードという場所に下ろします。そこから、フォークリフトを使って、受け入れホツパの中へ送ります。



② 指定ぶくろをやぶる

受け入れホッパからコンベアに乗せられたしげんプラは「破袋機」というきかいに運ばれます。
指定ぶくろをやぶいて、下にあるコンベアの上にしげんプラを広げます。

このきかいでは、二重になったぶくろをやぶくことができません。
しげんプラは指定ぶくろに直せつ入れてください。

しげんプラスチック



③ 作業員が、人の手でせんべつをする

指定ぶくろから取り出されたしげんプラの中には、しげんプラとしてリサイクルできないものが入っていることもあります。

そのため、3人の作業員がコンベアの上に広がったしげんプラを人の目で見かくにんして、人の手でしげんプラがいのごみを取りのぞいています。この作業を「手せんべつ」といいます。



しげんプラに入れてはいけないもの^{れい}の例

よごれているプラ



こがたかでん
小型家電



電池が入っている
電気せい品



大きすぎるプラ



④ 金ぞくを集めて取りのぞく

手せんべつした後のしげんプラを、「レアアースプーリー」という、強力な磁石^{じしゃく}でできたきかいにかけます。

このきかいで、手せんべつで見つけれなかった金ぞくをくっつけて取りのぞきます。

レアアースプーリー



レアアースプーリーにリチウムイオン電池やかん電池がくっつきました。
このほかにも、かん、ライター、はさみ、はりがね、びんのふたなど、金ぞくが入ったものがくっつきます。

⑤ おしつぶして、ボールを作る

ごみを取りのぞいたあとのしげんプラを「あっしゅくこんぼうき」というきかいで、ぎゅっとおしつぶします。

おしつぶしたしげんプラのかたまりをふくろの中につめて、まわりをひもでぐるぐるとしばってさいころのような形にします。できあがったものを「ボール」と言います。

しゅう集車1台分のしげんプラから、だいたい3このボールを作ることができます。



⑥ ペットボトルのボールを作る

ペットボトルも、しげんプラとおなじように手作業でゴミを取りのぞいた後、おしつぶしてボールを作ります。

ペットボトルのボールは、重さがやく200キログラムあります。
中にはおよそ8000本のペットボトルがつまっています。



ペットボトル



ペットボトルのボール

工作に使ったペットボトルや、よごれがのこったままのペットボトルはリサイクルできません。
「かねんごみ」で出してください。

⑦ リサイクル工場へ



できあがったボールは、しげんプラのボール、ペットボトルのボールごとに大がたトラックで、リサイクル工場へ運ばれて行きます。

⑧ リサイクル

しげんプラは、パレット（荷物をのせる台）、^{さく}柵、^{くい}杭、車止めなどに生まれかわります。

ペットボトルはもう一度ペットボトルになったり、たまごのパックや作業服などに生まれかわります。